

近畿本部衛生工学部会 第23回例会の御案内

近畿本部衛生工学部会 部会長 深田晃二

近畿本部衛生工学部会の第23回例会を下記の要領で行います。万障繰り合わせの上ご参加頂きますよう御案内致します。

— 記 —

1. 日 時： 2018年(平成30年)7月18日(水) 18:30~20:00
2. 場 所： 日本技術士会近畿本部 会議室
3. 講 演：

(1) 演題1： 18:30~19:15

「被ばくの森2018；見えてきた汚染循環～放射能の特性と汚染の影響」

講 師： 第一種放射線取扱主任者 鍵谷 司 技術士(衛生工学、建設、環境部門)

概 要：福島原発事故により広範囲の土地が放射能で汚染され、すでに7年を経過した。未だに立ち入ることが制限された広大な被ばくの森が残っており、動植物の繁殖の場となっている。森の放射能や動植物の調査から放射能の特性と汚染の影響がしだいに明らかになっている。最新の動向について紹介する。

資 格 ・第一種放射線取扱主任者・技術士(衛生工学、建設、環境部門)・甲種危険物取扱者等
経歴；放射線関係

○関西学院大学理学部化学科卒 ○原研・高崎研究所(コバルト60 γ 線照射によるプラスチックの強化と劣化研究) ○日本アイソトープ照射協同組合；放射線滅菌業務 ○(社)日本廃棄物対策協会 →環境計画センター→技術士事務所設立 ※廃棄物コンサルタント業、相談・指導を継続
※主たる専門分野：

ごみの固形燃料化・炭化、廃棄物埋立跡地の安全利用、プラスチック由来化学物質の影響など

(2) 演題2： 19:15~20:00

「日本技術士会の最新動向 ～現状の課題と今後について～」

講 師： 河野 千代 技術士 (建設部門)

概 要：日本技術士会が掲げる重点活動項目を念頭に、現在近畿本部では、新しい取組みを始めました。産学官との連携による技術士活躍の場の拡大に向けた活動として、「生産性革命」をキーワードに、21分野の技術士活躍の可能性を探ります。

資 格：技術士(建設：鋼構造及びコンクリート)、コンクリート診断士、コンクリート主任技士
経 歴：昭和63年 和歌山県立串本高等学校普通科卒業後、渡辺紙工業(株)に入社(総務部配属)
平成5年 大日本土木(株)入社(準社員)

平成14年 (株)久本組入社、現場配属後本社施工支援室に。現在同社企画支援室室長。
(公社)日本技術士会理事、近畿本部副本部長、近畿・建設部会副部会長、8委員会に所属。

4. 参加費： 会員1,000円/人、非会員2,000円/人(資料代)
5. 懇親会： 自由参加(3000円程度の実費)
6. 参加申込：

参加申込は講演会と懇親会それぞれについて、助宮幹事あて参加・不参加をご連絡願います。

(助宮幹事アドレス) guitars_cadillacs_etc@yahoo.co.jp

7. 申込締切： 7月12日(木)とします。